

福井県長期ビジョンの実現に向けた 県民アンケート調査結果(概要)



令和6年11月

アンケートの概要

目的

福井県長期ビジョンや県の行う施策等について、広く県民の意見を継続的に把握し、ビジョンの実現や政策の立案等に反映させる。

対象

県内に居住する満18歳以上の 3,184人 ※住民基本台帳から市町の人口割で無作為抽出

期間

令和6年7月5日～7月26日

方法

郵送による調査票配布回収およびWEBによる回答回収

主な設問

- ▶ 新幹線開業の効果
- ▶ 暮らしの満足度
- ▶ ウェルビーイング
- ▶ 地域の未来
- ▶ 女性活躍の推進
- ▶ デジタル技術の活用

有効回答数

1,710人（有効回答率 53.7%）

（回答内訳）

単位：人

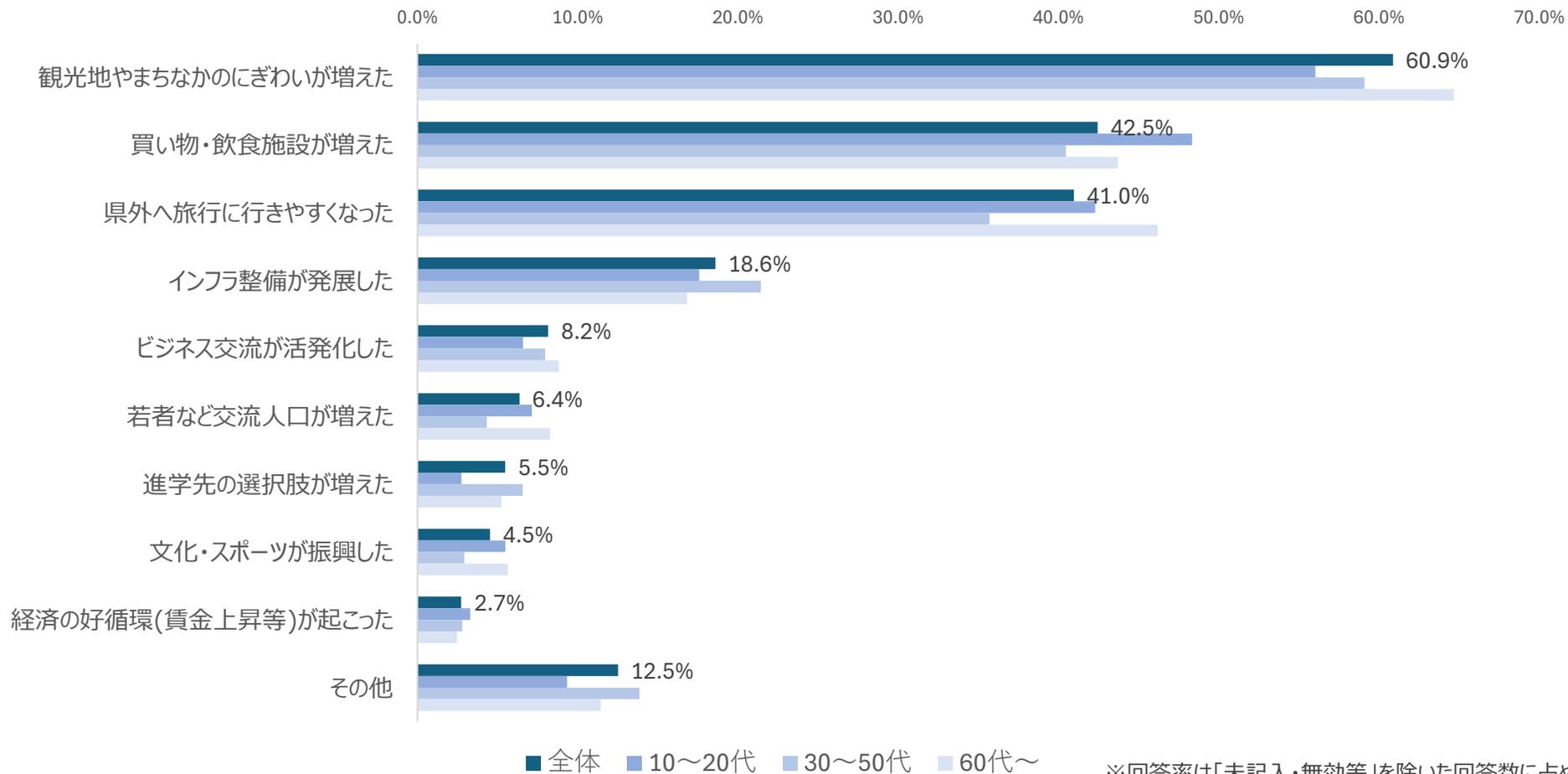
	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	未記入・無効等	計
男性	7	80	89	111	113	98	213	3	714
女性	13	81	112	142	148	139	293	7	935
そのほか	1	1	1	1	1	0	4	1	10
未記入・無効等	0	0	0	0	0	2	2	47	51
回答数	21	162	202	254	262	239	512	58	1,710

※次頁以降、各設問の「未記入・無効等」を除いてグラフを作成。

新幹線開業の効果

- 「観光地やまちなかのにぎわいが増えた」ことを実感している人の割合が約6割を超えており、60代以上の割合が最も高い。
- 「買い物・飲食施設が増えた」、「県外へ旅行に行きやすくなった」と感じている人の割合も約4割を超えている。

問 あなたが新幹線開業の効果を実感しているのはどのような部分でしょうか。（当てはまるもの全て）



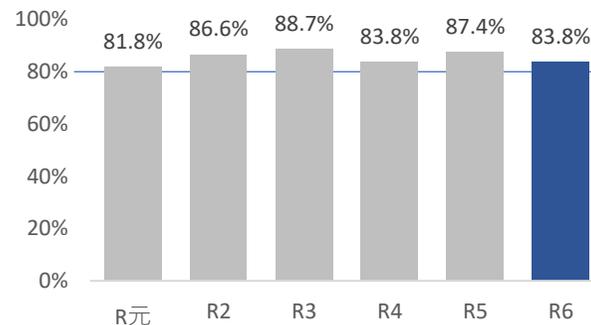
※回答率は「未記入・無効等」を除いた回答数に占める割合

暮らしの満足度

○暮らしの満足度について、「暮らしてきてよかった」、「どちらかといえば暮らしてきてよかった」と回答した割合は、80%以上を維持

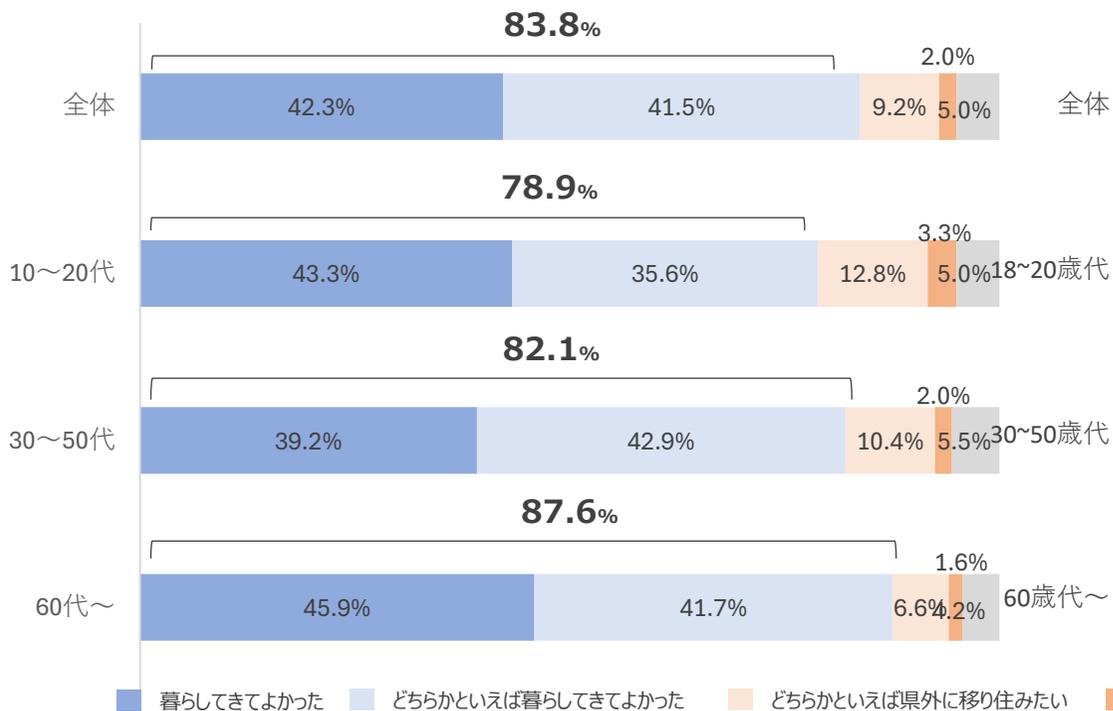
○年代別では、60代以上が最も高い87.6%。

過年度との比較（「暮らしてきてよかった」、「どちらかといえば暮らしてきてよかった」と回答した割合）

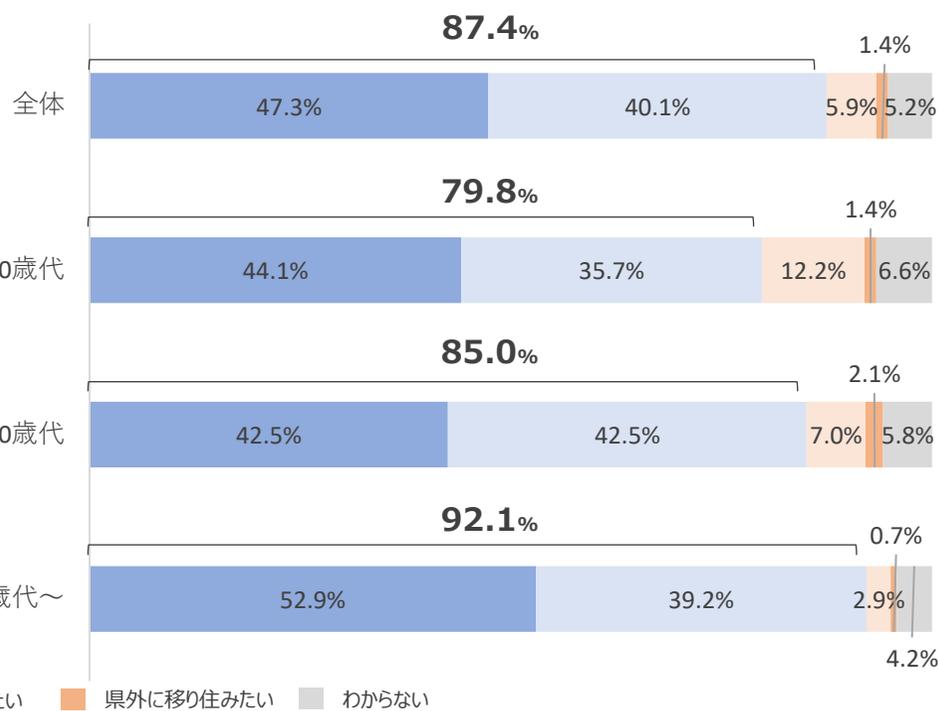


問 あなたは自分が福井県に暮らしてきて良かったと思っていますか。

令和6年度



令和5年度

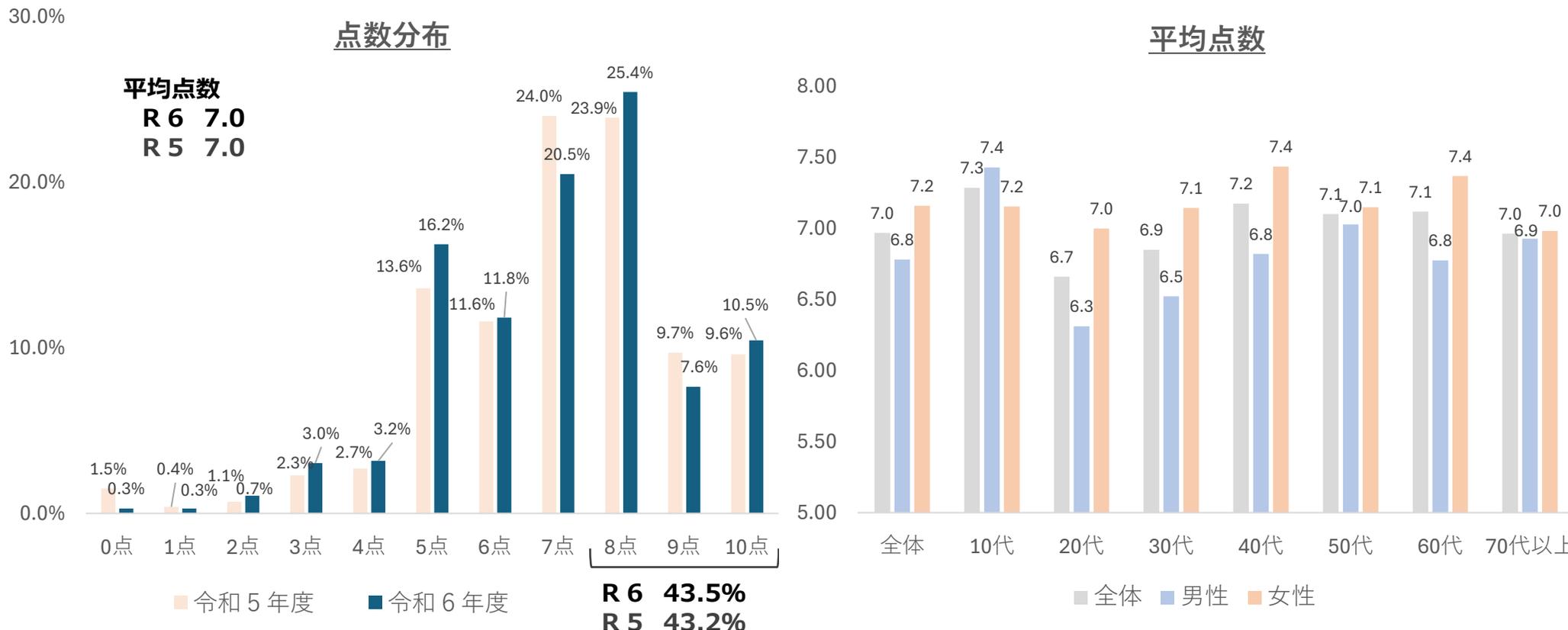


ウェルビーイング<現在>

○「どの程度幸せですか」との質問に対し、11段階中「8点」を選択した人が25.4%で最多。平均点数は昨年度から横ばいで7.0点であったが、8～10点を選択した人は昨年度を上回り、全体の43.5%を占めた。

○性別でみると、10代を除き男性より女性のほうが高い数値であった。

問 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

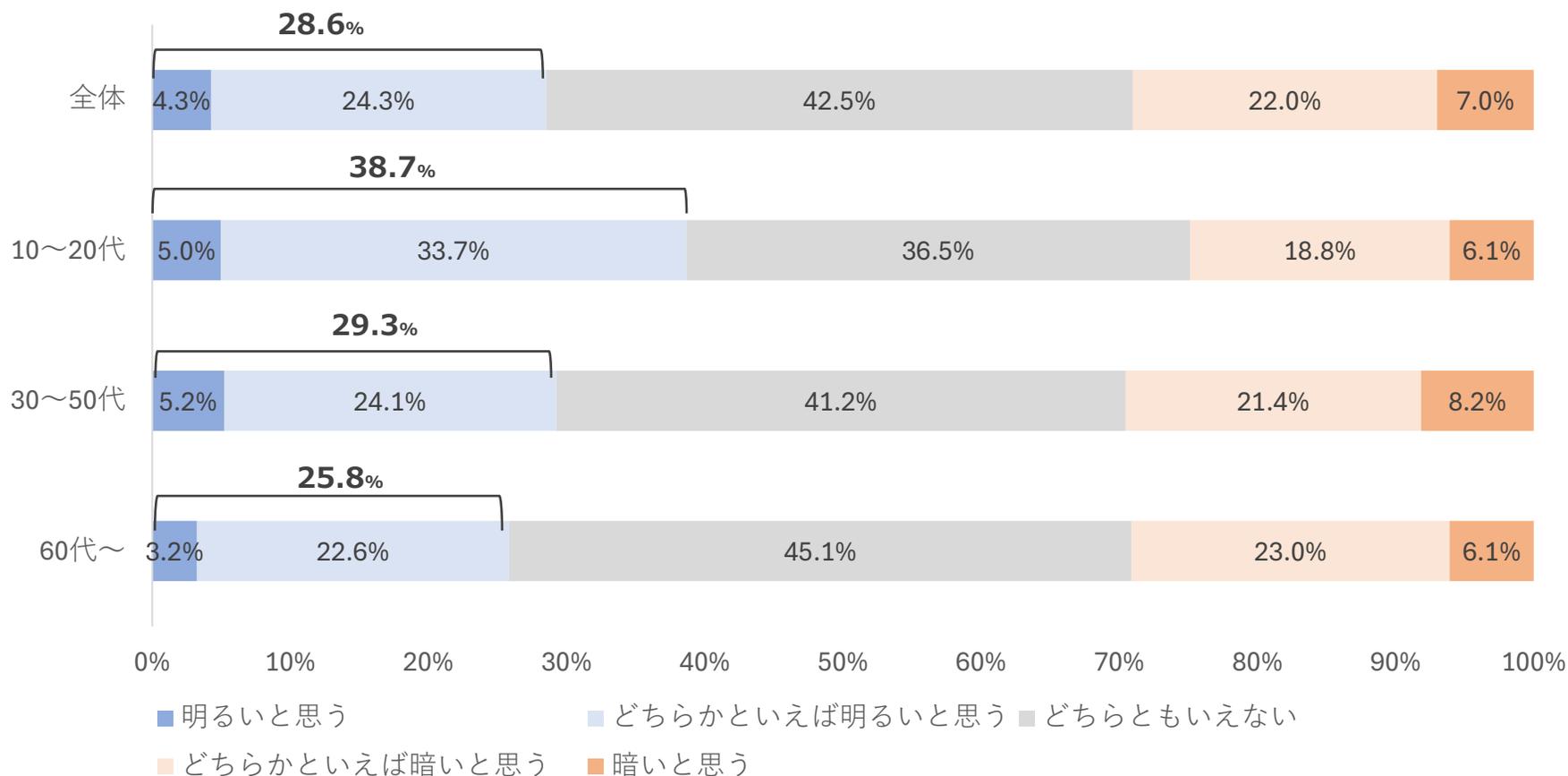


地域の未来の見通し

○10年後の地域の未来について「明るいと思う」、「どちらかといえば明るいと思う」と回答した割合は28.6%となっている。

○年代別では、10～20代が38.7%で最も高い。

問 あなたが住んでいる地域の10年後についてお聞きます。あなたが住んでいる地域の未来は明るいと思いますか、それとも暗いと思いますか。



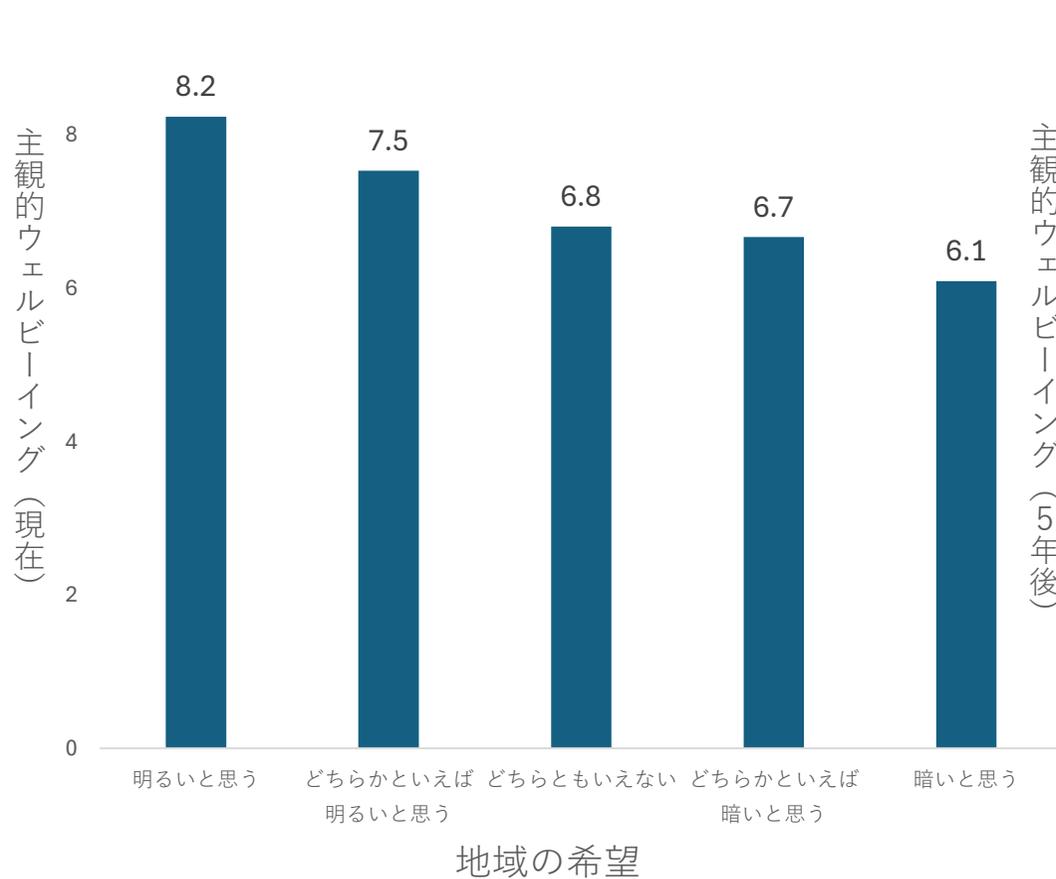
地域の希望×ウェルビーイング

○地域の希望を感じられる人ほど、現在・5年後のウェルビーイングは高い。（有意な相関あり）

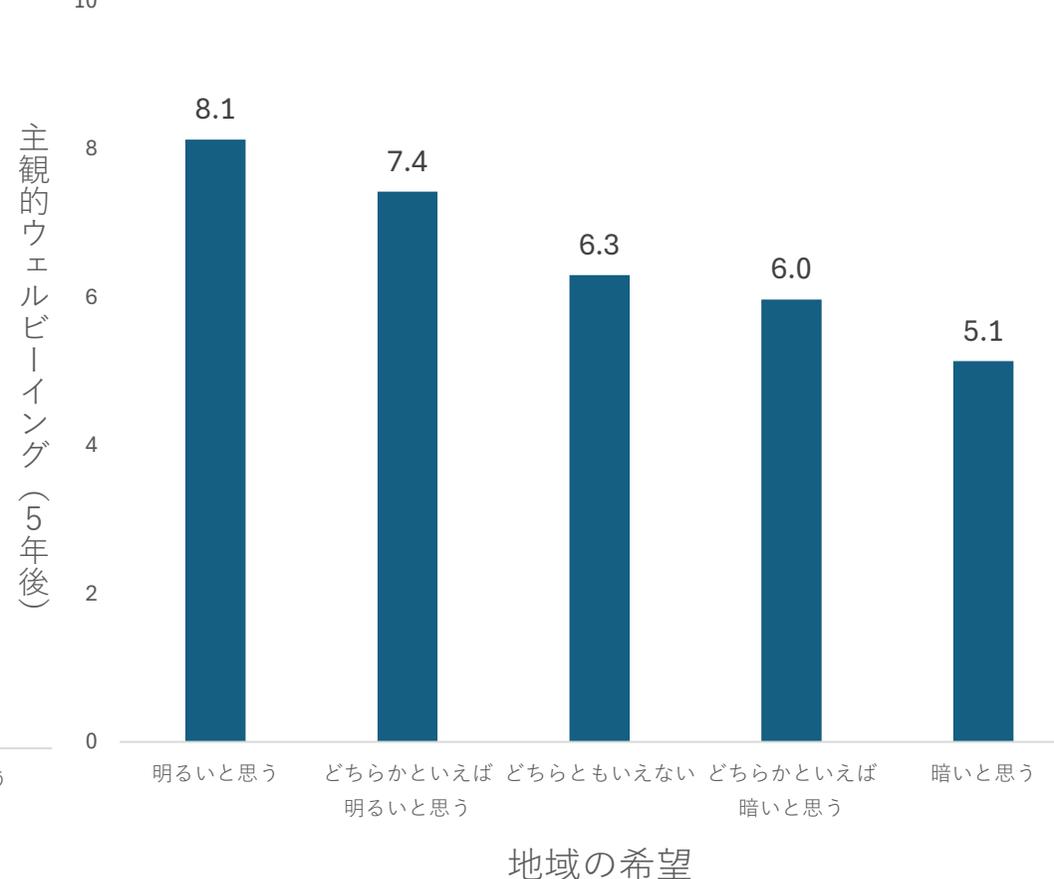
○現在のウェルビーイングより、5年後のウェルビーイングの方が地域の希望との相関が高い。

問 あなたが住んでいる地域の10年後についてお聞きます。あなたが住んでいる地域の未来は明るいと思いますか、それとも暗いと思いますか。

10 地域の希望と主観的ウェルビーイング（現在）



10 地域の希望と主観的ウェルビーイング（5年後）



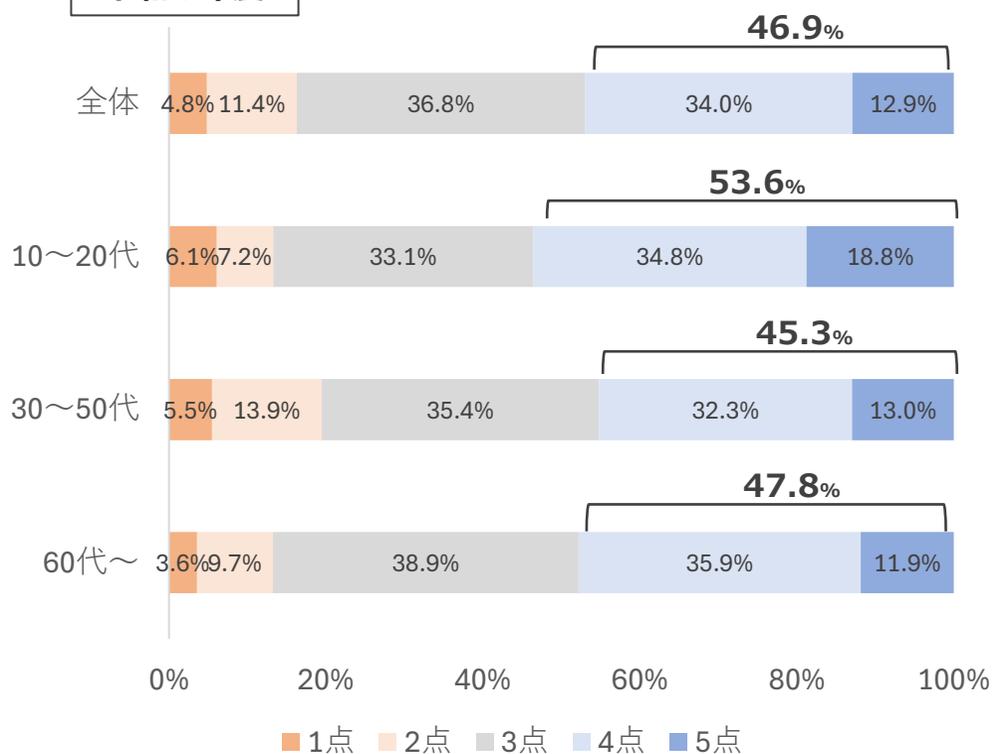
地域への愛着や誇り

○地域に愛着や誇りを感じている人の割合は46.9%で、昨年度から2.2%上昇している。

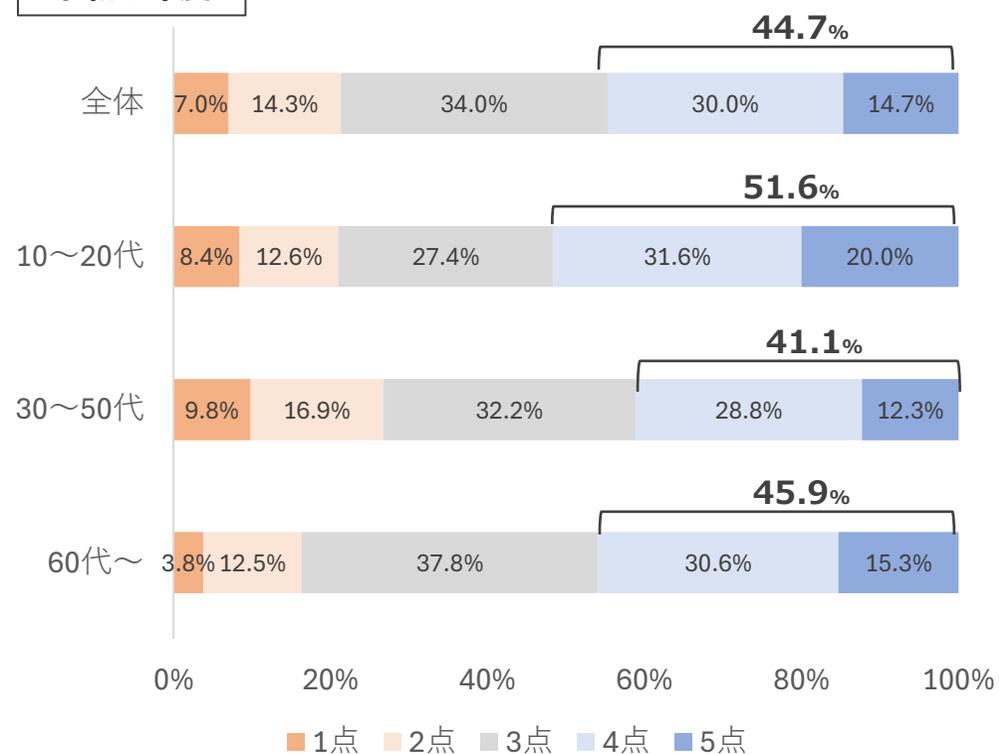
○年代別では、10～20代が53.6%で最も高い。

問 あなたの住んでいる地域に愛着や誇りを感じますか。「全くそう思わない」を1点、「強くそう思う」を5点とすると、何点くらいになると思いますか。

令和6年度



令和5年度



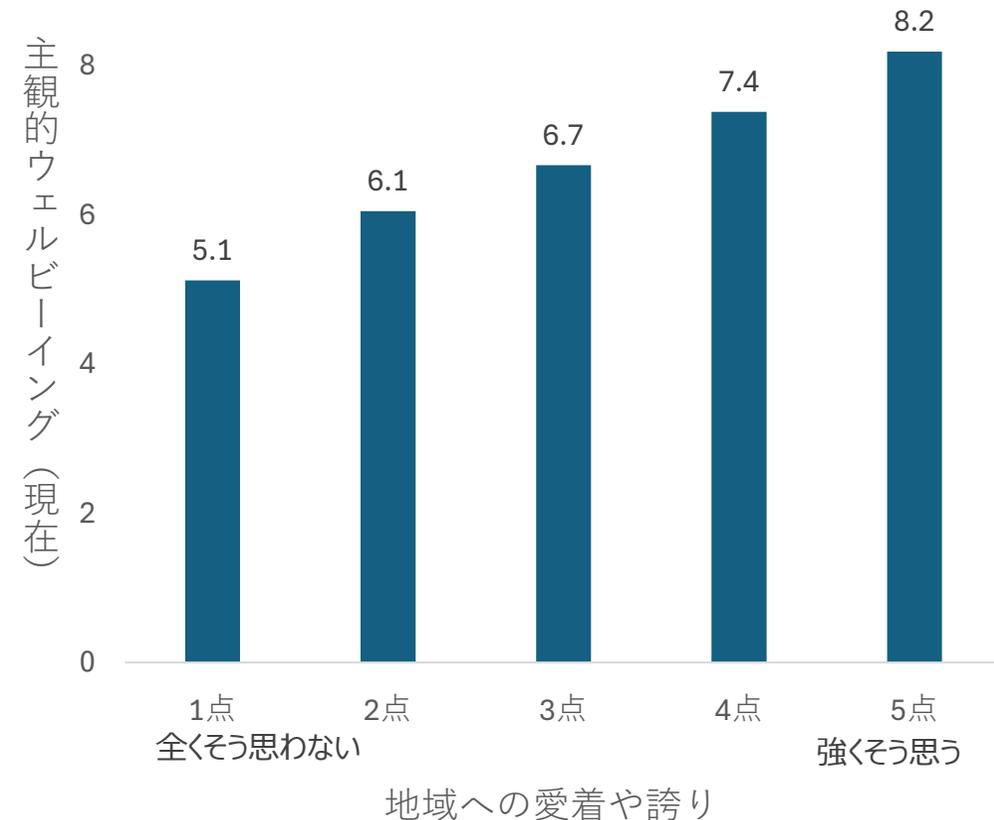
愛着や誇り×ウェルビーイング

○地域への愛着や誇りが強い人ほど、現在・5年後のウェルビーイングは高い。（有意な相関あり）

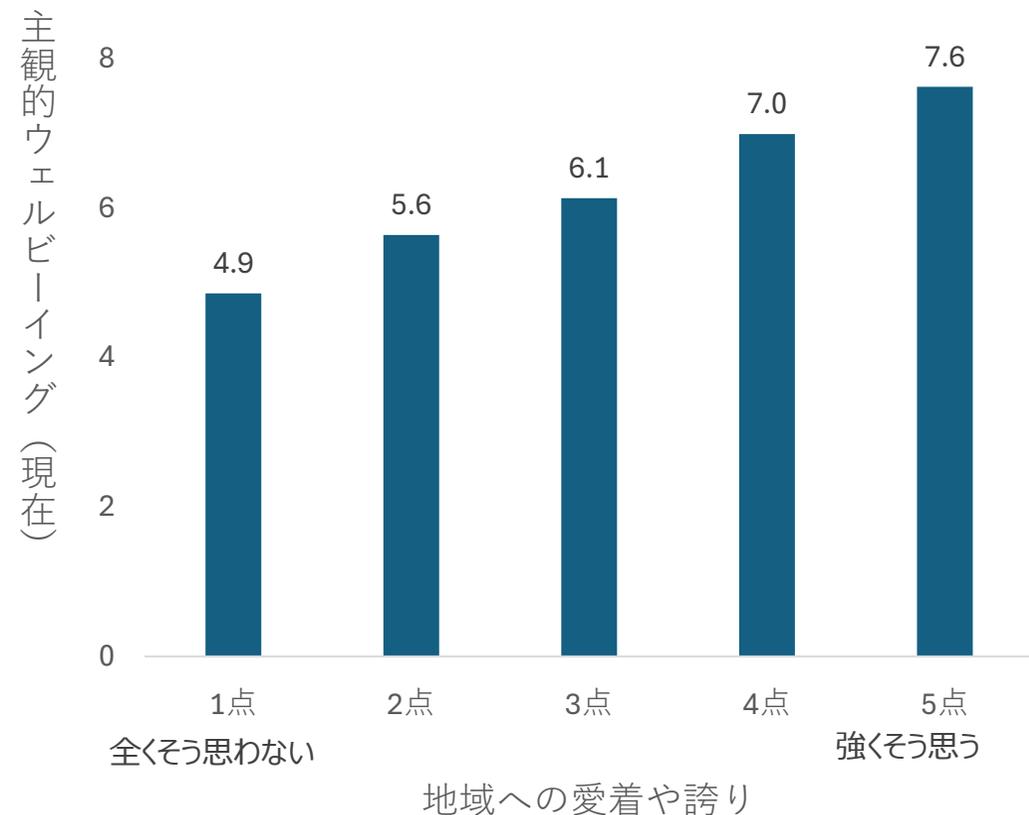
○5年後のウェルビーイングより、現在のウェルビーイングの方が地域への愛着や誇りとの相関が高い。

問 あなたの住んでいる地域に愛着や誇りを感じますか。

10 愛着や誇りと主観的ウェルビーイング（現在）



10 愛着や誇りと主観的ウェルビーイング（5年後）



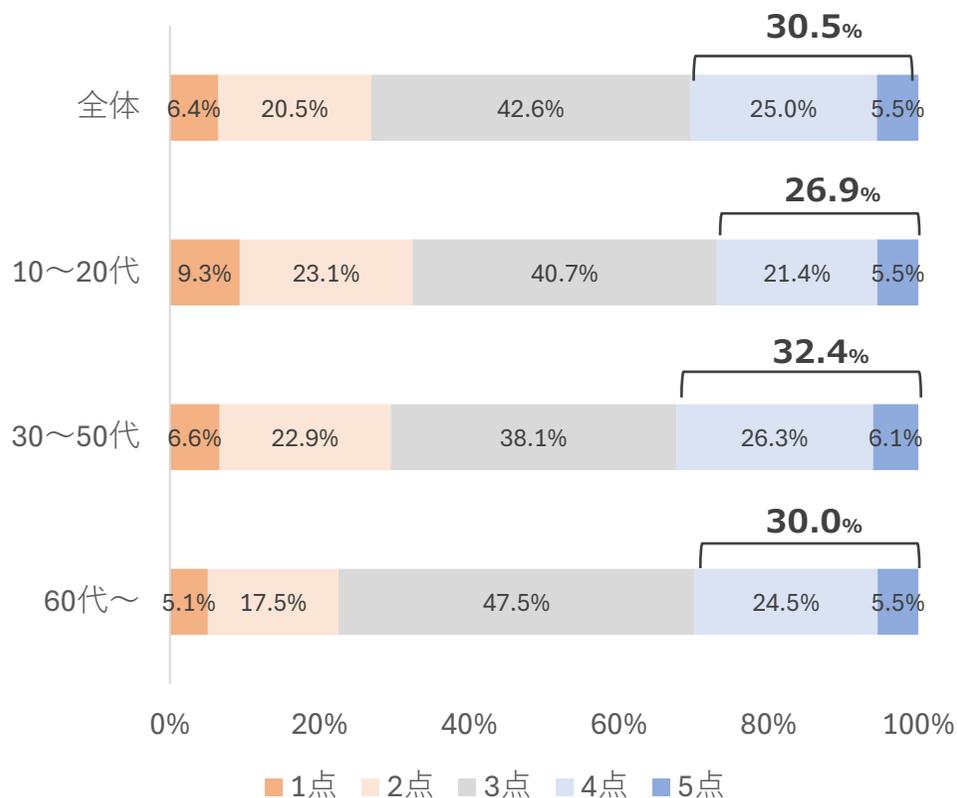
県外の方に自信を持っておすすめできるか

○「住んでいる地域を、福井県外にお住まいの方に自信をもっておすすめできる」と感じている人の割合は30.5%で、昨年度からわずかに上昇している。

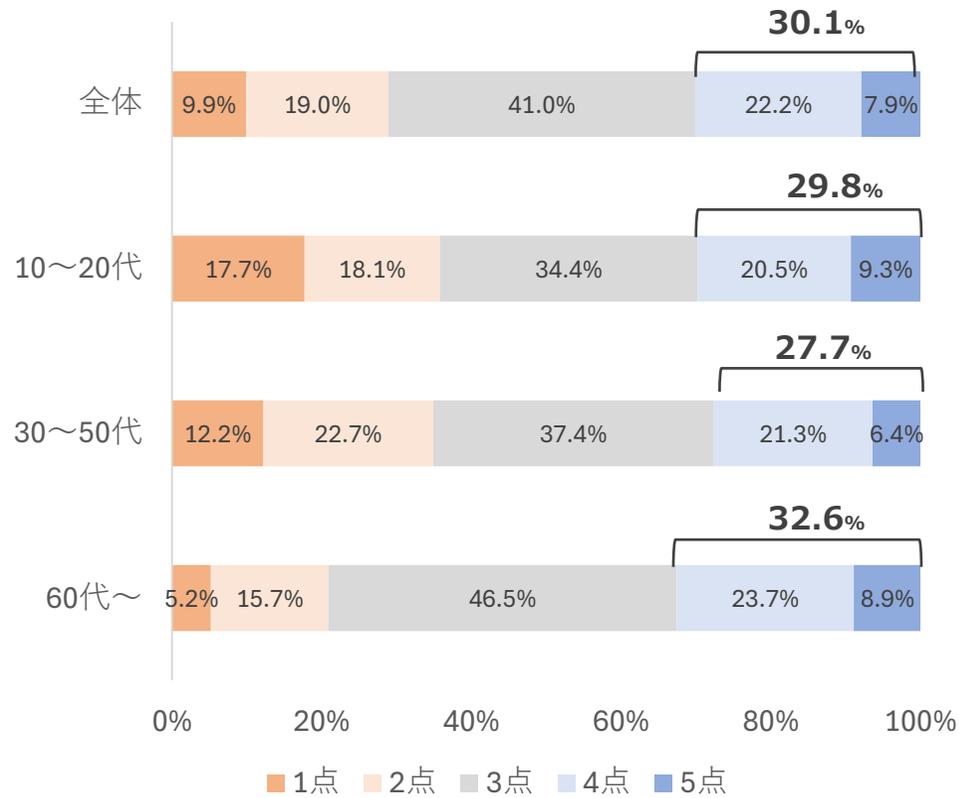
○年代別では、30～50代が32.4%で最も高い。

問 あなたは、あなたの住んでいる地域を、福井県外にお住まいの方に自信をもっておすすめできると感じますか。

令和6年度



令和5年度



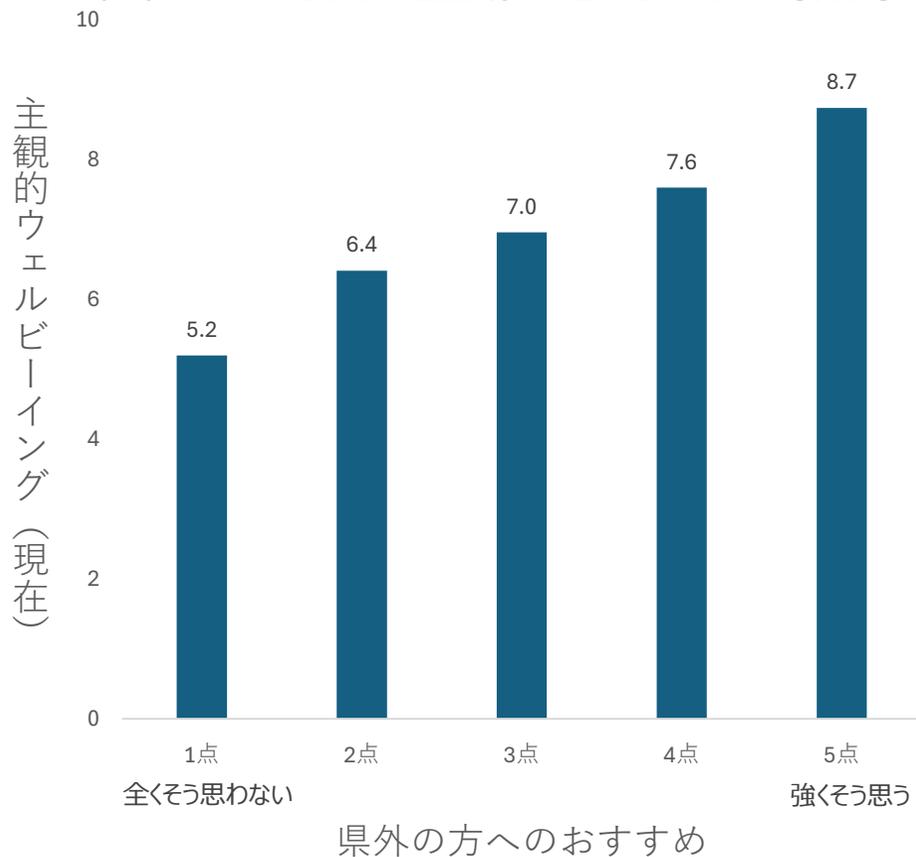
県外の方へのおすすめ×ウェルビーイング

○「住んでいる地域を、福井県外にお住まいの方に自信をもっておすすめできる」人ほど、現在・5年後のウェルビーイングは高い。

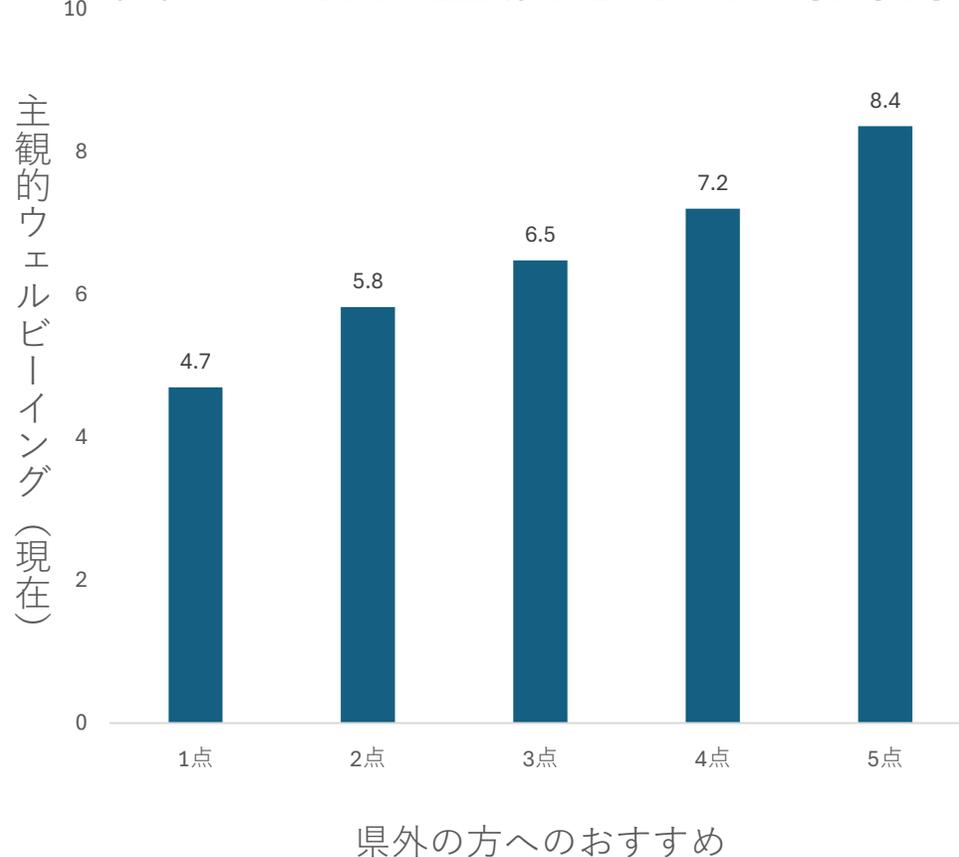
○5年後のウェルビーイングより、現在のウェルビーイングの方が県外へのおすすめ度との相関が高い

問 あなたは、あなたの住んでいる地域を、福井県外にお住まいの方に自信をもっておすすめできると感じますか。

県外の方へのおすすめと主観的ウェルビーイング（現在）



県外の方へのおすすめと主観的ウェルビーイング（5年後）

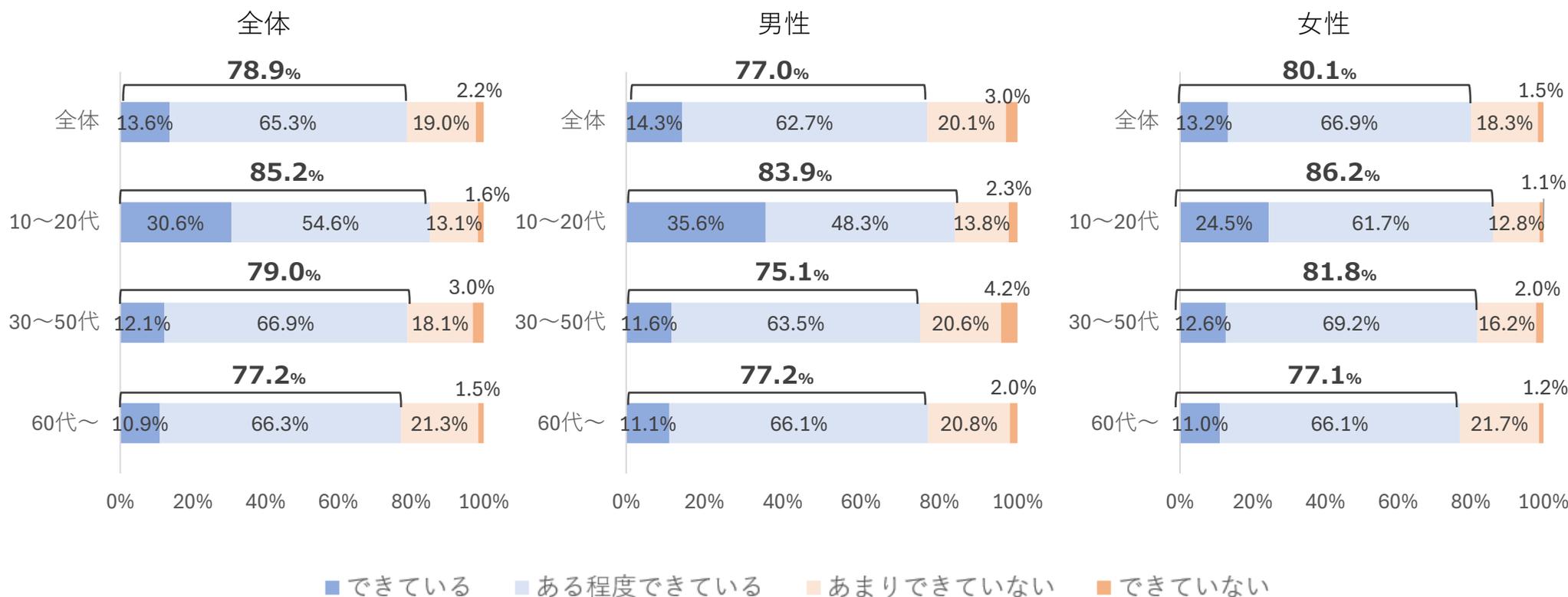


寛容性(多様性の尊重)

○多様性の尊重が「できている」、「ある程度できている」と感じている人の割合は78.9%で、年代別では10～20代が85.2%で最も高い。

○10～20代、30～50代では、男性より女性の方が、多様性の尊重が「できている」、「ある程度できている」の割合が高い。

問 多様性の尊重について、お聞きます。あなたは、性別、世代、国籍、障がいの有無、価値観や考え方などの「違い」について、偏見や差別の理由とすることなく、多様性を受け入れることができますか。



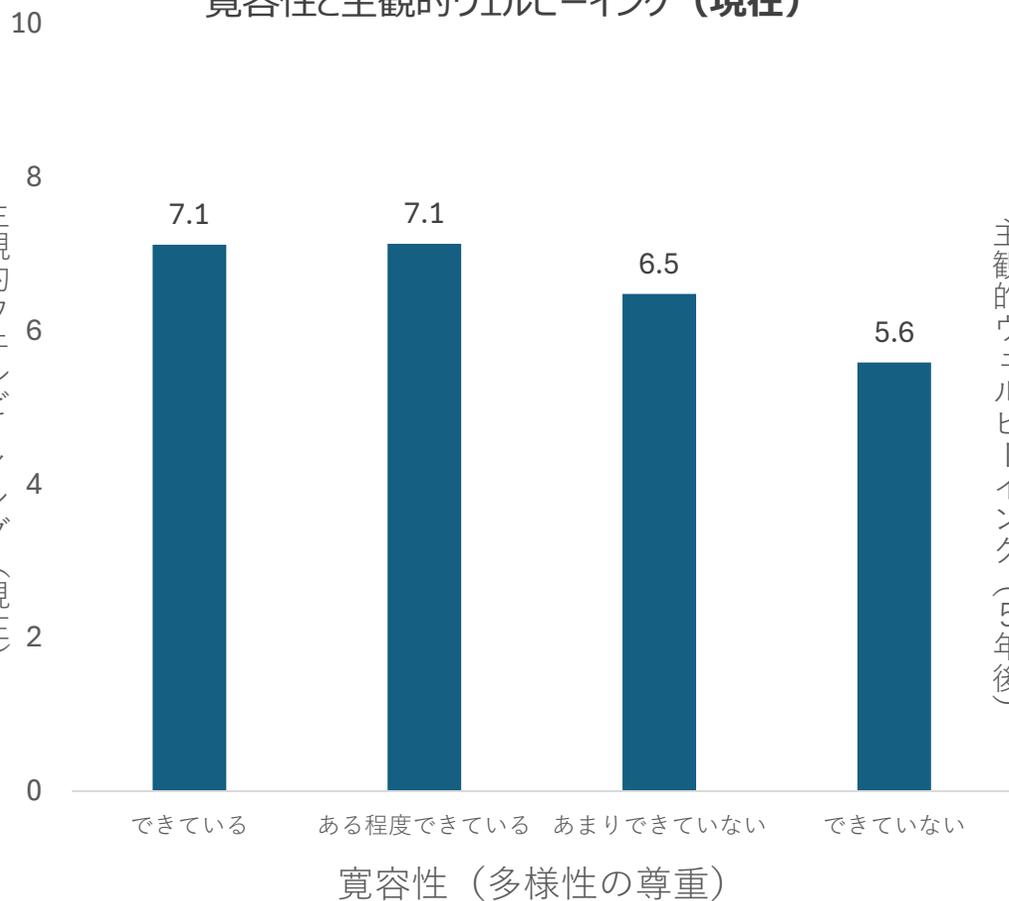
寛容性×ウェルビーイング

○寛容性が高い人ほど、現在・5年後のウェルビーイングは高い。（有意な相関あり）

○5年後のウェルビーイングより、現在のウェルビーイングの方が寛容性との相関が高い。

問 性別、世代、国籍、障がいの有無、価値観や考え方などの「違い」について、偏見や差別の理由とすることなく、多様性を受け入れることができますか。

寛容性と主観的ウェルビーイング（現在）



寛容性と主観的ウェルビーイング（5年後）

